

臨床研究 「川崎病における免疫グロブリン大量療法（IVIG）抵抗性の危険因子についての検討（多施設共同研究）」 に関するお知らせ

後ろ向き研究への御協力をお願い

東京大学医学部附属病院小児科では、表題のような研究を多施設共同で行います。参加施設は本学の他、太田総合病院附属太田西ノ内病院、さいたま市民医療センター、青梅総合病院、帝京大学医学部附属病院、JR 東京総合病院、茅ヶ崎市立病院、藤枝市立総合病院、焼津市立総合病院です。本研究において必要となるのは、実際に当院に川崎病の治療を目的として入院された患者さんの診療録（カルテ）の情報です。患者さんの診療録に記録されている各種の臨床情報（川崎病の主要徴候の有無、発熱期間、治療前後の血液検査結果、治療内容（免疫グロブリンの投与日、投与量）、治療結果（冠動脈合併症の有無））です。これらの臨床情報を取得して統計学的な解析を加えることにより、川崎病の急性期治療の発展に貢献したいと考えています。

1. 対象

2006年1月から2012年12月までに、上記の9施設に入院されて、川崎病の治療を受けた患者さんの診療録を研究の対象といたします。

2. 方法

診療記録を閲覧しながら、患者さんの個人情報と排除して、別の番号で匿名化し、病歴、検査所見、治療内容、臨床経過などの医学情報を調査票に記入し、各種の統計解析を行います。研究者は東京大学医学部附属病院内において解析を実施します。

3. 研究における倫理的配慮について

本研究は、過去の診療録調査だけの研究ですので、患者様の生命・健康に直接影響を及ぼさず、患者様から採取した試料を実験的に用いることはありません。氏名・生年月日・住所・電話番号・ID番号などの個人情報はすべて匿名化されてから解析されますので、個人情報が漏れることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響はすることはありませんし、研究にご協力いただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。なお、費用は東京大学の研究費で行います。このような診療録情報の利用にご承諾いただけない患者様は、お手数ですが、下記の連絡先までお願いいたします。

東京大学附属病院小児科医局

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1

Tel. 03-5800-8659 Fax. 03-3816-4108